

八洲学園大学中長期計画 平成 25(2013)～34(2022)年度

はじめに

これからの八洲学園大学は、生涯学習の理念を大きく拡張し、各自が学んだ智を共有する新たなフェーズにチャレンジします。得た知識や体験は、個人の中に閉じ込めるのではなく、多くの人と共有することで、人類の英知として拡散されます。また、自分が得た智見は、他人に伝えることで、咀嚼され定着します。学び合い、教え合うことは、自らの学びを、楽しいものにするだけでなく、より深いものにしてくれます。大学の講義を学生だけのものから社会に開放するにとどまらず、教壇に立つ者も、教員だけでなく広く社会に求めることで、大学をより開かれた存在にします。また、学生同士が学び合い、さらに、教えあう空間をインターネットを通じて提供していきます。

(平成 25(2013)年度 学長メッセージより抜粋)

I. 「八洲学園大学中長期計画」の内容

平成 25 年(2013 年)より、10 年後の八洲学園大学の未来像を策定し、その計画の実現に向け、教育改革を進めています。

- (1) 生涯を通して主体的に学び発信し続ける意欲をもった人材を育成している
- (2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している
- (3) 時代の要請に応えた特色ある e ラーニングスタイルを提供している
- (4) 生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している
- (5) グローバル化に対応した学習を提供している
- (6) キャリア形成や就職・転職支援をしている
- (7) 広く社会や地域に貢献している

(1) 生涯を通して主体的に学び発信し続ける意欲をもった人材を育成している

激しく変化する社会の中で、現代社会の抱える諸問題や課題に向き合い、学習や経験を積み重ね、得た成果は周囲に発信する等、生涯を通して主体的に学び、互いに発信し続ける意欲をもった人材を育成しています。

(2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している

教員と職員とが一体となり、責任をもって教育と学生支援に取り組み、学生の学ぶ意欲に応え、学びの支援をすることを通して、教員・職員も常に成長していく心構えをもって学びの場を構築しています。

(3) 時代の要請に応えた e ラーニングスタイルを提供している

社会の情報化や高速度化、情報機器の発達に即して e ラーニングを広め、それに関わる諸問題を解決して、だれでも、どこからでも、いつでも、いつまでも学ぶことができるよう、時代の要請に応えた e ラーニングスタイルを提供しています。

(4) 生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している

過疎化、過密化、高齢化、孤立化等が進む多難な社会を力強く生きぬく力を持ち、かつ、社会を支える意欲をもった人材を育成するため、新たな科目や科目群編成、カリキュラムの再構築等を進めて、生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進しています。

(5) グローバル化に対応した学習を提供している

グローバル化が進んだ社会や世界のあり方を正確にとらえ、様々な人々とともに働くことのできるコミュニケーションの力を育成するために、海外在住の日本人、外国人も受講できるよう、海外のインターネット環境に対応した学習を提供しています。

(6) キャリア形成や就職・転職支援をしている

社会の中で各自が各自の役割を果たすことで生きがいを感じる豊かな生き方への志向性をそなえた人材を育成するために、科目群の整備、体験を交流する場の設置、大学による就職・転職情報の提供に努める等、キャリア形成や就職・転職支援をしています。

(7) 広く社会や地域に貢献している

神奈川県や横浜市と、地域やコミュニティを通じて交流を深めるとともに、各学生が、自分の居住する地域の課題解決に応える等、地域に貢献しています。また、本学の教育媒体であるインターネット機器を活用して他団体の講習会を支援し、社会に貢献しています。

II. 実施計画 (前半の5年間で第一期、後半の5年間で第二期とする)

(1) 生涯を通して主体的に学び発信し続ける意欲をもった人材を育成している

- ①カリキュラム・ポリシーに基づいた体系的な教育課程の編成
- ②ディプロマ・ポリシーに基づいた評価指標の明確化
- ③多様な学習の支援

(2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している

- ①アドミッション・ポリシーに基づいた学生の受入れ
- ②学生の視点を育成に反映させる取り組み

③学生の成長を促す取り組み

(3) 時代の要請に応えた e ラーニングスタイルを提供している

- ①e ラーニングシステムの機能を生かした教授法の開発
- ②FDの実施
- ③SDの実施

(4) 生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している

- ①カリキュラムの確認と再構築
- ②FDの実施
- ③研究紀要の発行

(5) グローバル化に対応した学習を提供している

- ①多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築
- ②公開講座の開設
- ③科目群の整備

(6) キャリア形成や就職・転職支援をしている

- ①就職・転職支援の充実
- ②科目群の整備
- ③公開講座の開設

(7) 広く社会や地域に貢献している

- ①神奈川県・横浜市との連携
- ②各地域での社会貢献
- ③大学施設・設備の開放

Ⅲ. 添付資料

上記の計画及び実行計画は、以下の基本方針に基づく。

建学の精神

「教育の原点は家庭である」ことに基づいた、家庭教育、学校教育、社会教育の融合を図り、もって生涯学習社会を実現すると同時に、すべての人が高等教育の機会を得られることに貢献する。

教育の理念

人間性豊かなeラーニングを推進することにより、個人や社会の学習の課題を発見・解決し、新たな道を拓くことのできる資質・能力を養い、高める。

大学の目標

我が国の資源は人間力といわれるように、人的資源が重要です。それを支えるのは生涯学習支援者であり、これからは、社会のさまざまなところで生涯学習支援者が従来にも増して重要な役割を果たすようになると予想されます。八洲学園大学は人間力を支える生涯学習支援者を育てます。本学では、人間性豊かなeラーニングで生涯学習やその基盤となる幅広い学問を学びます。次のようなことが可能です。

- ・大学で学問をしたいという夢を実現すること
- ・国家資格（社会教育主事・図書館司書・学校図書館司書教諭・学芸員）や豊富な科目修得認証を取得して、社会で活かすこと
- ・社会人の基礎力及び実務能力・コミュニケーション力を身につけたり、地域づくりや起業などの知識・スキルを修得したりすること 等

生涯学習学部がめざすのは、個人や社会の学習の課題を発見・解決し、新たな道を拓くことのできる資質・能力を養い高めることで、人間力向上のための生涯学習を支援できる人材と生涯各期にマネジメント力を社会に還元できる人材の養成です。

八洲学園大学の教育方針 (3つのポリシー)

○アドミッション・ポリシー

生涯学習とその支援および生涯マネジメント、レジリエンスについての研究を行い、その成果を生かした教育を通して、生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見・解決能力、実践力を培い、その基盤となる豊かな人間性の育成を目標としています。

○カリキュラム・ポリシー

生涯学習学部では、生涯学習社会の実現に貢献しうる人材の育成のため、以下の方針（略）に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成しております。

○ディプロマ・ポリシー

生涯学習学部では、修業年限以上在籍し、所定の単位数を修得するとともに、以下（略）の素養を身につけた学生に対して卒業を認定します。

- ・豊かな人間性と生涯学習についての幅広い識見
- ・生涯学習社会の実現に貢献しうる課題発見
- ・解決能力、実践力・困難にぶつかってもそれを人間らしく乗り越えることができるレジリエンス力（成長性弾力、V字型回復力）

趣旨内容

(1)生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材を育成している
 教員と職員とが一体となり、責任をもって教育と学生支援に取り組み、学生の学ぶ意欲に応え、学びの支援をすることを通して、教員・職員も常に成長していく心構えをもって学びの場を構築しています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(1)生涯を通して主体的に学びを発信し続ける意欲をもった人材を育成している	①カリキュラム・ポリシーに基いた体系的な教育課程の編成				①カリキュラム・ポリシーに基いた体系的な教育課程の編成					
	②ディプロマ・ポリシーに基いた評価指標				②ディプロマ・ポリシーに基いた評価指標の明確化					
	③多様な学習の支援					③多様な学習の支援				

■ 実現に向けて準備を進める第1段階

■ 発展的な内容へ高めていく第2段階

趣旨内容

(2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している

激しく変化する社会の中で、現代社会の抱える諸問題や課題に向き合い、学習や経験を積み重ね、得た成果は周囲に発信する等、生涯を通して主体的に学び、互いに発信し続ける意欲をもった人材を育成します。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(2) 学生が意欲をもつ学びの場を構築している	① アドミッション・ポリシーに基いた学生の受入れ				① アドミッション・ポリシーに基いた学生の受入れ					
	② 学生の視点を教育に反映させる取り組み				② 学生の視点を教育に反映させる取り組み					
	③ 学生の成長を促す取り組み					③ 学生の成長を促す取り組み				

■ 実現に向けて準備を進める第1段階

■ 発展的な内容へ高めていく第2段階


趣旨内容


(3)時代の要請に応えたeラーニングスタイルを提供している

社会の情報化や高速度化、情報機器の発達に即してeラーニングを広め、それに関わる諸問題を解決して、だれでも、どこからでも、いつでも、いつまでも学ぶことができるよう、時代の要請に応えたeラーニングスタイルを提供しています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(3)時代の要請に応えたeラーニングスタイルを提供している	①eラーニングシステムの機能を生かした教授法の開					①eラーニングシステムの機能を生かした教授法の				
	②FDの実施			②FDの実施						
	③SDの実施				②SDの実施					

 実現に向けて準備を進める第1段階

 発展的な内容へ高めていく第2段階

趣旨内容

(4)生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している

過疎化、過密化、高齢化、孤立化等が進む多難な社会を力強く生きぬく力を持ち、かつ、社会を支える意欲をもった人材を育成するため、新たな科目や科目群編成、カリキュラムの再構築等を進めて、生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進しています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(4)生涯学習社会の実現に向けての研究開発を推進している	①カリキュラムの確認と再構築					①カリキュラムの確認と再構築				
	②FDの実施					②FDの実施				
	③研究成果の公開					③研究成果の公開				

■ 実現に向けて準備を進める第1段階

■ 発展的な内容へ高めていく第2段階

趣旨内容

(5)グローバル化に対応した学習を提供している

グローバル化が進んだ社会や世界のあり方を正確にとらえ、様々な人々とともに働くことのできるコミュニケーションの力を育成するために、海外在住の日本人、外国人も受講できるよう、海外のインターネット環境に対応した学習を提供しています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(5)グローバル化に対応した学習を提供している	①多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築			①多様なインターネット環境に対応した学習システムの構築						
	②公開講座の開設				②公開講座の開設					
	③科目群の整備					③科目群の整備				

■ 実現に向けて準備を進める第1段階

■ 発展的な内容へ高めていく第2段階

趣旨内容

(6) キャリア形成や就職・転職支援をしている

社会の中で各自が各自の役割を果たすことで生きがいを感じる豊かな生き方への志向性をそなえた人材を育成するために、科目群の整備、体験を交流する場の設置、大学による就職・転職情報の提供に努める等、キャリア形成や就職・転職支援をしています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
(6) キャリア形成や 就職・転職支援を している	① 就職・転職支援の充実			① 就職・転職支援の充実						
	② 科目群の整備					② 科目群の整備				
	③ 公開講座の開設				③ 公開講座の開設					

■ 実現に向けて準備を進める第1段階

■ 発展的な内容へ高めていく第2段階

趣旨内容

(7) 広く社会や地域に貢献している

神奈川県や横浜市と、地域やコミュニティを通じて交流を深めるとともに、各学生が、自分の居住する地域の課題解決に応える等、地域に貢献しています。また、本学の教育媒体であるインターネット機器を活用して他団体の講習会を支援し、社会に貢献しています。

行動計画

取組内容	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平34年度 (2022年度)
(7) 広く社会や地域 に貢献している	① 神奈川県・横浜市との連携			① 神奈川県・横浜市との連携						
	② 各地域での社会貢献			② 各地域での社会貢献						
	③ 大学施設・設備の開放			③ 大学施設・設備の開放						

実現に向けて準備を進める第1段階

発展的な内容へ高めていく第2段階